

平成30年度



学校だより

伸びよう 豊かに たくましく ~学ぶ喜びにあふれた学校をめざして~

平成30年10月31日

横浜市立高田小学校

11月号

秋の運動会

学校長 金子 一雄

10月1日(月)の未明に関東地方を通過した台風24号の暴風雨の影響で、校庭の木々が被害を受けました。校庭側の1本が倒壊し、多くの木々の枝が5~6本折れてしまいました。北風だと校舎の陰で風が幾分和らぐのですが、今回は南方向の風が強かったらしく、南側は畑ばかりで遮蔽するものがない高田小では、直接その風が木々にあたり大きな被害となりました。朝出勤しますと、紅葉や桜、銀杏の木の大枝がいくつも横たわっています。大人2~3人では、運べないくらい大きなものです。また、校庭をびっしり、風で飛ばされた緑の葉が、落ち葉のように埋めており、どう対処すればよいか、最初は途方にくれてしまうほどでした。岡山県の水害や、北海道の地震の被害と比べれば、ほんの少しの被害ですが、何十年と成長した木々の命を一瞬のうちに奪ってしまう出来事を間近で見て、自然の驚異を感じるとともに、非常に残念な思いでいっぱいになりました。

出勤した職員で清掃しようとしたのですが、あまりにも多くかたづけきれない状況でしたが、ちょうどその日に予定されていた「クリーンアップ作戦」の時間を利用して、6年生が清掃してくれました。61名の6年生は一生懸命校庭の葉を集めて清掃してくれました。風で転がっていた1年生の朝顔の鉢をすべて起こして並べ、さらに、かぜで倒れていた「ひまわり」や「ハウセンカ」もきれいに処理してくれました。折れた木々は、市教育委員会にお願いしましたら、すぐに対応してくれ、倒壊した木の処理や清掃はもちろん、折れてまだ木の上に残っていた危険な枝もすべて除去してくれました。

翌日、昨日のことがまったくなかったように、きれいに片付いた校庭を見て、これで授業や運動会の練習ができるかと安堵するとともに、自然の驚異に負けない人間の力強さも感じる事ができました。岡山県や北海道の復興が早くなされ、水害や地震の被害を受けた方々が落ち着いて生活できる日々が早くくることを願っています。

運動会には、たくさんの方に参観していただきまして、ありがとうございました。1日順延しての運動会となりましたが、どうにか実施することができました。昨年度より、本校では秋実施に変更しました。その最も大きな理由は、「児童主体の運動会にしたい」、「児童の考えや思いをできるだけ取り入れた行事にしたい」ということからです。これは、年度当初である春ですと、どうしても用意までの時間が短く、宿泊行事もあり、児童の考えや思いを十分汲みきれなかったという反省に基づいてのものでした。そこで、学校としては、できる限り児童の考えを聞きながら、より児童の主体性を生かしたものにすることを意識し準備を進めて参りました。開会式の運営、全校ダンスの取組、応援団の企画、マスコットキャラクターの導入、鼓笛隊の演奏など、これまで職員の発想が中心だったところが、児童の思いや創意、児童自身の活動を重視しての取組に変わってきました。見た目にはあまり変化していないように感じる方もいらっしゃると思いますが、運動会の企画の仕方は随分変わり、児童の発想をたくさん取り入れています。

今回閉会式で各運動会委員会の児童を紹介させていただきましたのは、運営や企画に携わった児童も評価していただければという思いからです。運動会では、徒競走やリレーで活躍した子の「がんばり」も多いに評価したいところですが、その運動会自体の運営や企画に力を発揮してくれた児童も同じように評価したいと思っています。

これからも、児童自身で作り上げる行事を増やし、児童の主体性や活動に対する意欲を培う場づくりを心がけたいと思います。

運動会で熱い声援で児童を支えてくださいました保護者の皆さま、地域の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。